

# 平成28年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊西部航空方面隊

開催日及び場所	平成28年9月15日(木) 福岡第2合同庁舎5階 第1会議室
委員	牧角 龍憲 (大学教授)                      松藤 泰典 (大学特任教授) 増永 弘 (弁護士)                              清水 秀幸 (公認会計士) 諏佐 マリ (大学准教授)

## II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日	
審議対象件数	5,316件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	(審議概要) 地方調達 1 地方調達発注実績について 2 抽出事案について
一般競争	3件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
○委員からの意見・質問  ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p><b>【地方調達発注実績について】</b> 特になし</p> <p><b>【抽出事案について】</b> ○地方調達について <b>1 〔海上輸送34人外〕</b> (一般競争) (一者応札)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額の契約で落札率が100%の理由は何か。</li> <li>・予定価格はどのように算定したのか。具体的な説明を。</li> <li>・予定価格の算定において、業者が公表している料金を元に作成し、業者はその金額と同一金額で入札に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応可能な業者が1社のみで、公表されている料金表を元に予定価格を作成した結果だと考える。</li> <li>・対応可能な業者は1社のみで、料金は公表されている。その業者に改めて見積を聴取し、料金表と同額であることを確認し、予定価格を作成した。</li> <li>・入札結果から見れば、そのとおり。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>参加したということか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・料金表どおりの金額であれば、そこに競争性は働かず、一般競争入札に付す意味がないのでは。</li> <li>・契約の内容が交通費を支払っているものになっている。入札ありきという考え方もあるが、契約の内容、入札状況から随意契約方式への移行についての検討も必要である。</li> </ul> <p><b>2〔P9（航空自衛隊下甕島分トシ基地）屋上防水工事〕</b> （一般競争）（複数者応札）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額な契約でありながら落札率が高いのはなぜか。</li> <li>・市価調査で中野建設(株)からの調査価格を採用しているのに、落札したのが、(株)ヨスミ建設ということか。</li> <li>・契約書に示されている工事仕様が公告では工事概要と概略しか記されていないが、落札後に工事仕様を摺り合わせていることはないか。</li> <li>・市価調査で中野建設(株)からの調査項目を採用しているのに、落札したのが、(株)ヨスミ建設ということについて、具体的理由を説明されたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札を実施することで、料金表(予定価格)より安価になる可能性を期待し、入札を実施した。</li> <li>・定期航路以外に、他の業者が入札に参加する可能性は皆無とは言えないものの、今回の入札・契約状況、また、他部隊の契約実績等も踏まえた上で、今後の契約方式を検討したい。</li> <li>・離島の特性上、資材運搬及び労働力確保が困難であるため、本土の同種工事と比べ高額な金額となる。予定価格の作成においては、市価調査を一部実施しているが、大部分は標準図書等により積算している。適正な予定価格であり、落札結果が高いのは入札の結果である。</li> <li>・市価調査で中野建設(株)から採用した調査した事項は、「必要車両数」「必要作業員」「必要宿泊日数」の数量であり、その数量を商船会社及び民宿の金額に乗じて算出している。(株)ヨスミ建設が落札したのは、企業努力によるものと考える。</li> <li>・公告を掲載する際に契約書に示されている工事仕様も掲載しており、落札後に摺り合わせはしていない。</li> <li>・予定価格のうち標準図書等で積算したものが約8割、市価調査が約2割である。約2割の部分において安価であっても、残り8割の部分で(株)ヨスミ建設が安価であった。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>3 〔市販型大型車両外注整備〕</b> (一般競争) (複数者応札)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額 of 契約で落札率が100%の理由は何か。</li> <li>・車両はどのようなものか。</li> <li>・市価調査を予定価格とし、入札時と同じ業者が参加するのでは落札率が100%になるのは当然と思うが、予定価格の妥当性はあるのか。</li> <li>・落札率が100%になると分かっているものであれば随意契約しても良いのでは。</li> </ul> <p><b>4 〔航空自衛隊指揮システム用器材(JACS)の移設〕</b> (随意契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1者応札後の不落随契であるが、入札から契約に至るまでの経緯等を説明して下さい。</li> <li>・役務内容が、移設と動作確認をするのみであれば、約300万円は高額に感じるが予定価格はどのように算出したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者の市価調査を元に予定価格を作成し、同業者が入札時も同単価で応札したため100%となった。</li> <li>・公道を走行できる一般的な車であり、車両整備の特殊性はない。</li> <li>・参加業者以外の公表価格や前年度契約単価と比較した結果の予定価格なので、妥当であると考えます。</li> <li>・落札率が確実に100%であると断言できれば随意契約への移行も考える。本事案は結果的に落札率が100%となったが、他のメーカーの車両はそうでないものもある。引き続き入札に付すことで競争性を高め、価格の低減を図ることを追求したいと考える。</li> <li>・作業内容は一般機器の移設とは異なる特殊性があるものの、入札参加に意欲を見せた業者が2社あったことから入札を実施した。適正な予定価格を積算し、入札したが結果的に不落随契約となった。</li> <li>・価格の高低は、標準的な価格指標がある役務内容ではないことから、一概に高い、安いとの評価ができるものではないと考える。        予定価格は、①移設費、②技術料及び材料費、③旅費で構成し、業者見積及び防衛省旅費規則を準用し積算した。        ②の材料費にて、業者見積に過剰積算が見られたため不要分を削除、③の旅費は防衛省の旅費規則を準用して積算した。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の削減について、具体的な例としてはどのようなものがあるか。</li> <li>・不調となった大きな要因は、ケーブルか。</li> <li>・最後の入札は10月20日に公告し10月26日に入札と、最短5日間で入札を実施しているが、急を要する理由は何か。</li> <li>・役務内容が移設し動作確認のみであるのに、なぜ入札参加者が1社のみだったと思うか。</li> <li>・リース会社で移設を行うべきではなかったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・削減したのはLANケーブルであり、最低限必要な量（長さ）を計上して積算した。</li> <li>・大きな要因としては、旅費であると考えている。</li> <li>・JACSは要求部隊において恒常的に業務に使用するものであることから、移設スケジュールが遅れると部隊運用上の支障があると考えたためである。</li> <li>・2社、入札参加意欲を示した業者もあったが、辞退した細部理由については承知していない。</li> <li>・リース会社との契約上、移設は含まれておらず、別契約となる。また、参入意欲のある業者が2社いるように、競争性のある案件であると考えている。そのため、一般競争入札に付し、競争原理を促すことは妥当であると考えている。</li> </ul>

